

法要報告

三月二十三日

春季彼岸会
並永代経総経



三月二十三日、当院の春季彼岸会並びに永代経総経の法要が勤まりました。大阪教区獅子吼の会より三好泰紹師に「呼びかけに育つ」を講題に御法話いただきました。当日は門徒、三日講員、納骨堂護持会員の皆様が参詣され、法要後にはお斎としてお弁当が配られました。

三日講北陸参拝 研修旅行

三月二十六日、二十七日に、当院御門徒による三日講北陸参拝旅行が開催されました。当日は別院の御門徒、三日講員を含む約十二名の方が参加され、蓮如上人が築かれた北陸教化の拠点である「吉崎別院」と「金沢別院」に参拝しました。

吉崎別院（写真右）では、本堂にお参りの後、吉崎御坊跡（写真中）を見せていただきました。現地の方に吉崎の歴史と蓮如上人の伝承を説明いただきました。蓮如上人以前から伝わる、北陸の土徳を身感じられ、充実した旅行になりました。



法要法座の御案内

左記の如く法要・法座を執り行いますので、万障お繰り合わせの上、ご参詣くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

七月 十三日（日） 午前十時、三日講

「歎異抄を読む」

二十一日（月）午前十時三十分、仏具磨き

二十五日 晓天講座（下記参照）

二十六日 晓天講座（下記参照）

二十七日 晓天講座（下記参照）

八月 十三日（水） 午前十時、孟蘭盆会

法話 上本和樹師

九月 二十三日（土）午前十時、三日講

「歎異抄を読む」

九月 二十三日（火）午前十時、秋季彼岸会

法話 志紀正機師

晓天講座前の仏具磨きを行います



●当日は汚れても良い服装でお越しください
●必要な用具は別院にて用意しております
●初めてのの方の参加もお待ちしております

二〇二五年度 晓天講座の御案内

本年も当院にて晓天講座（朝の法座）を開催します。例年と同様、三日間に渡り講師の先生にお越しいただき、御法話をいただきます。法話後には、パンとコーヒーをお渡しいたします。是非有縁の方お誘いあわせの上、ご聴聞いただきますようお願い申し上げます。

七月二十五日（金） 六時四十五分、講師 藤井 慈等 師

講題 『「人権宣言」としての立教開宗」

七月二十六日（土） 六時四十五分、講師 一栗 真 師

講題 『世を痛むころろ』

七月二十七日（日） 六時四十五分、講師 高橋 法信 師

講題 『義なきを義とす』



【別院御門徒へ】八月お盆参りについて

別院の御門徒の皆様には、今年度のお盆参りのご案内を同封しております。お盆参りのご希望の日時を返信ハガキにご記入いただき、ご投函ください。

【納骨堂護持会員へ】お盆期間中のお参りについて

岡崎別院は、お盆期間中に御門徒の各家のお内仏にお盆参りに伺います。つきましては、寺務所を一時的に閉所する時間帯がありますので、納骨や申経、その他各種手続きにて別院寺務所へご利用の方は、必ず事前にご連絡いただきますようお願い申し上げます。※納骨堂は、開門から閉門まで自由にお参りしていただけます。

【別院御門徒へ】法要会館について

当院には、整備事業に際して法要会館ができております。会館の中には年忌法事・通夜葬儀・その他仏事を執り行える法要ホール（椅子席・冷暖房完備）が設けられています。是非、ご家族お誘いあわせの上、ご参加ください。別院までご相談ください。通夜葬儀会場としてのご利用をお考えの方は、株式会社公益社までご連絡ください。【公益社相談窓口（四時～三六五時対応）】0120・004・200



結婚式のご報告

四月六日 朋之さん 雅美さん

四月二十日 龍之介さん 佳恵さん



仏前結婚式の予約について

結婚式は日程の仮押さえなどのお問合せも順次入っております。岡崎別院での挙式をご検討の方は、別院までお問合せいただきますようお願いいたします。

予約状況
・十月五日
・十一月九日

列座のつばやき

前頁に掲載されております通り、落慶法要が多くのお参詣の中で無事厳修できました。関連のイベントにて、本堂で手を合わせておられた女性に話かけたところ、「随分前の輪番から、この岡崎別院に一度お参りに来るよう勧められていたが、ようやくお参りすることができた」と感激の涙を流しておられました。私の思いを超えた所で、これまで岡崎別院を支えてきた人がいる一方、法要によって新たに別院に足を運ばれる方がいることを、身を通して感じたことでもあります。（松岡）

宗宝宗史蹟
親鸞聖人岡崎草庵跡
真宗大谷派
岡崎別院

〒606-8335
京都市左京区岡崎天王町二六
TEL 075-771-2921
Fax 075-748-1665
Mail info@okazakibetsuin.com
HP http://okazakibetsuin.com/

法要委員長 御礼

整備委員長
法要委員長
唯明寺 亀田 晃巖

落慶法要円成の御礼
退任の挨拶
願いは人を突き動かし 動かされた人は
その願いを以て 次の方々を動かす
やがて連続意窮となる

（五月山門法語）



第64号
令和7年
(2025年)
7・8・9月号

岡崎別院
総合整備
落慶法要特別号

発行
岡崎別院
輪番 福田 大

皆様方のおかげをもちまして、この度
4月19日落語会 5月11日フェスティバル
4月26日落慶法要 落慶祝賀会
の全てが円成いたしました

二〇二四年五月三十一日に法要委員会が設立され、関係各位の皆様方のご尽力により、おかげさす別院フェスティバルの終了を以て、岡崎別院総合整備落慶法要のすべてを円成出来ましたことと謹んで陳謝し、御礼を申させて頂きます。長期間に亘り、ご尽力を賜りましたこと、頭の下がる思いでございます。本堂に有難うございました。これまでの歩みを顧みすれば、二〇一七年五月二十日に整備委員会が発足し二〇二一年九月七日に本堂のご本尊動座式が、翌年の二〇二二年一月十九日にホテルオークラ京都岡崎別邸のオープン式典、また二〇二三年九月四日には本堂ご本尊還座式が勤まり、翌年の二〇二四年五月二十九日には整備の完了をもって竣工式が執り行われました。

長期に亘る工事期間中であってはおおシヤによるウクライナ侵攻によりウッドショックでの木材不足と高騰また、建築部材の高騰による予算への波及など、“もう出来ないかも知れない”という恐怖と絶望でどん底に落される気持ちになることも幾度もありました。整備委員会の皆様方と当院職員の一一致団結の精神「へこたれません、やり切るまでは」の願いのもと邁進させて頂いたことであります。岡崎別院は宗祖親鸞聖人が青年期と

壮年期の二期に亘り、お住まいになったといわれる別院でございます。二〇〇九年九月十六日にご本山より『宗宝宗史蹟 親鸞聖人岡崎草庵跡』として指定を賜わり、ご本山にとりましても当院関係者や全国の御門徒さんにとりましても大切な別院でございます。落慶法要を円成させて頂き何より念わせられることは、願いは人を動かす、成らぬ事をも成し遂げる原動力があるという事を感じさせていたこと。ご協力を賜った多くの方々の御願いが形として具現化した思いが致します。しかしながら、落慶法要がすべての帰着ではありません。落慶法要で具現した形を受け取った者は次の方々へと願いを以て継承していく仕事があり、お寺といふのはそのような願いに突き動かされた方々によって継承、存続されてきたように思います。創建以来二百二十余年の間、数知れぬ法話が語られ、それこそ無数の方々の仏法聴聞の場として、地震や台風や風雪に耐え、聴聞者を包み込み、多くの念仏者を生み出してきてきた場であり、柱の一本一本に仏法が染みこんでいる、本堂が岡崎別院総合整備落慶法要を大きな節目として、今から新たな出発をさせて頂くことであります。

有縁の方々と共に現代の時代、社会に身を置く苦悩多き人生を生きていく中で「自らの人生を仏法に聞く」場としての本堂に身を運んできたのだくことを切に願うとともにより充実した法座の開設へと邁進させて頂く所存でございます。今、時代は人口減少、少子高齢化という大きな課題の只中にあります。日本の高度成長時代には想像もできなかったことが現実になり「大きいことはいいことだ」というコマースがあれど、時代からすれば大きな価値観の変貌を余儀なくされていると、私自身は痛感させられていることです。また反面、このような現代だからこそ人と人が向き合っている大きな転機であり、このような時代だからこそお寺に出来ることがあるのではないかと、私には思えてならないのです。子どもへの向き合い方としては、地域に留まってしまう子ども会に限らず、全国の真宗大谷派の別院や教区との交流での異文化のふれあい、そのなかでの子ども会への開催。また、参加対象を子どもだけに限らず、両親や祖父母同伴型による開催によって全国の御門徒の家族がふれあい、異文化について学び、感じ、領くことができる場の創造を図ることが可能になるのではないのでしょうか。また、交流を深める中でより一層、地域のお寺の存在を知っている中、別院、寺院と御門徒のつながりを持つる契機になるように念います。高齢化社会の中では、息子さん、娘さんなど遠く離れて生活されている方も少なくないことで、今後のお寺との関係、葬儀は何処でしたらいいの、その後の法事はどうなるのか等。いろいろないのではありませんか。一人の方も少なくないのではないのでしょうか。一人の高齢者の悩みにも宗派を挙げて応えていくことの出来る体制作りを強化する必要があります。ように私自身、思わされる事でもあります。時代、社会の中で、常にお寺が出来ることを御門徒との歩みのなかで模索していく教化が今、宗派に求められている事を、改めて皆様方と歩みを進めてきた岡崎別院総合整備落慶法要を通して知らされてきた課題であることは確かなことであります。

退任の挨拶

私ごとではありますがこの度、二〇二五年六月末日をもちまして、岡崎別院輪番を退任させて頂くことになりました。顧みますれば、二〇〇八年十月二十日より二〇二五年六月三十日迄の十六年と八ヶ月に亘り、皆様方にお世話になり、歩ませて頂きましたこと、誠に有り難く貴きことと感謝を申し上げます。岡崎別院で御縁を頂きました皆様方の御厚情を糧に歩ませて頂きたく、この紙面をお借りして私の退任の挨拶とさせて頂きます。

岡崎別院総合整備 落慶法要円成



超満堂の中「親鸞屋敷」再出発

去る四月二十六日（土）午後二時より「岡崎別院総合整備落慶法要」が円成しました。当日は出仕僧侶約五十人、来賓や別院の御門徒を始め、関係業者や山城第一組・山城第二組の御寺院・組門徒会の方々、この総合整備にあたり御尽力いただいた有縁の方々を合わせ約二百五十人の方が、改修された本堂を埋め尽くしました。

動行前に、「岡崎別院総合整備事業」の整備委員長を務め、今回の「落慶法要」の法要委員長を務めていただきました亀田晃蔵氏より挨拶がありました。「まさに今この草庵蹟で、宗祖が私達と共に聴聞されていたといたしなながら、この法要に臨みたい」と法要への思いを確認しました。

法要は、大谷裕新門が導師を勤め、厳かに起立散華（きりゆうさんげ）が行われました。御法話は、真城義應師より「ふかきみ法にありまづる」を講題に、福田輪番との思い出や整備事業の話も交えつつお話いただきました。

当日までの準備、また当日の諸係など、整備事業の着工からこの法要を迎えるまで、数えきれない多くの方の御理解と御協力を賜りましたこと、紙面を借りて改めて厚く御礼申し上げます。

誠にありがとうございました。



⑨祝賀会部門長 細川成之氏



⑩法要部門長 川嶋正氏（手前）



⑪一般出仕者は約20名

⑫教区内別院御輪番方



⑬法要受付には、別院門徒・組内御寺院・組門徒会の多くの方に御協力いただきました。御志納を納めていただいた方には、旧庫裏の輪番所の木材を使用した腕輪念珠をお渡しさせていただきました。



⑭当日は宗務総長を筆頭に、宗務所関係部長方に御臨席いただきました。



⑮外陣には京都教区准堂衆会の皆様、岡崎別院雅衆会の皆様が出されました。



表白

敬て 大慈大悲の阿弥陀如来の尊前に申して曰さく
本日恭しく尊前を莊厳し、数多の細衆参集のもと、此処に岡崎別院総合整備落慶法要を厳修し奉る。此の岡崎別院は、宗祖親鸞聖人若年の砌における修学研鑽の御旧跡を崇敬せんとて、享和元年達如上人を開基として有縁の同朋相集いて建立せらるるもの也。

爾来、宗祖御旧跡として広く真宗門徒の追慕の念を受け、浄土の法水を四壁に潤し来り、翻て創建以来二百二十余年の歴史を積み重ねる中において、無数の念仏の声沁みわたる本堂はじめ諸堂の老朽化は覆い隠すべくもなく、宗祖草庵御旧跡としての雄姿を復せんと、長らく願われ来たり。

茲に今、宗祖御誕生八百五十年の年を迎え、崇敬の門徒寺院のみならず、全国より無数の懸念集まり来たり、漸く別院の総合整備が成就せられたり。

願わくは、この厳修参会を深縁とし、有縁の細衆相共に手を携え、本願念仏相統の道を歩まん伏して請う。如来、大悲を垂れて哀愍授受し給へ。

令和七年四月二十六日
敬て申す

落慶祝賀会



第一部 音楽イベント

花まつりの後には、野外・屋内の2ステージで音楽イベントが開催されました。終日、境内にご飯やクレープのキッチンカーが出店し、手作り念珠作りなどの体験コーナー、射的やスーパードールすくいなどの遊べるブースも設置され、一日を通して多くの人でにぎわいました。



落慶法要までの歩み

二〇一七年
敷地内借家・専修学院
旧岡崎学舎解体
同年五月
「整備委員会」設立



①大谷専修学院 岡崎学舎

二〇一八年
三善地所株式会社と
借地契約を締結

二〇二〇年
境内借地内ホテル起工式

二〇二二年九月
御本尊動座式厳修
旧庫裏解体開始

二〇二三年一月
起工式厳修
御本尊動座式厳修
旧庫裏解体開始

二〇二三年九月
御本尊還座式
並庫裏上棟式厳修

二〇二四年五月
竣工式
「落慶法要委員会」設立

二〇二五年四月
落慶法要厳修

二〇二四年五月
竣工式
「落慶法要委員会」設立

二〇二五年四月
落慶法要厳修

二〇二四年五月
竣工式
「落慶法要委員会」設立

二〇二五年四月
落慶法要厳修

二〇二四年五月
竣工式
「落慶法要委員会」設立

二〇二五年四月
落慶法要厳修

二〇二四年五月
竣工式
「落慶法要委員会」設立

二〇二五年四月
落慶法要厳修

二〇二四年五月
竣工式
「落慶法要委員会」設立

二〇二五年四月
落慶法要厳修

二〇二四年五月
竣工式
「落慶法要委員会」設立

二〇二五年四月
落慶法要厳修

二〇二四年五月
竣工式
「落慶法要委員会」設立

二〇二五年四月
落慶法要厳修